

日吉ダム洪水調節（台風21号）について

9月29日夜に近畿地方に再上陸した強い台風21号は、各地で記録的な豪雨と大きな被害をもたらしました。また、淀川水系桂川の日吉ダム（京都府船井郡日吉町）上流域では、前線と台風21号の影響により、9月28日21時から降り始め、29日20時から21時に流域平均の1時間あたり最大雨量が30.0mmを記録し、総雨量は128.2mmに達しました。

日吉ダムでは、この降雨の出水により、29日23時8分に洪水量（毎秒150m³）に達したため、洪水調節を開始し、30日2時25分に最大流入量毎秒約388m³となりました。最大流入量に達した時刻のダムの放流量は毎秒約150m³で、毎秒約238m³を調節し、約488万m³の流水をダムに貯留しました。

今回の洪水調節の効果を下流の亀岡（京都府亀岡市保津町）地点において試算すると、ダムが無かった場合には最高水位が3.55mとなりますが、ダムで洪水調節をしたことにより約0.5m（実際の最高水位3.04m：指定水位は2.5m）水位を低減することができました。

日吉ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダムの効果発現に努めて参ります。

日吉ダムの洪水調節効果（亀岡地点）

